



【地元企業の技術者等による「匠の技継承講座」Ⅲ(1・2回目)】

《目的・ねらい》

[目的] 地元造船会社の熟練技能者等による実技指導を通して、社会で働く方々の技能の高さを実感するとともに、仕事に取り組む姿勢などを学ぶ。

[ねらい] ぎょう鉄に関する基本的な技能を身に付ける。



《実施内容》

◆ぎょう鉄の実技指導

○日時 平成30年5月30日(水)・7月4日(水) 5・6限目

○場所 今治工業高等学校 機械造船科実習棟

○対象 機械造船科3年生 2班(各班4名)

- 取組
- ・講師による作業要領の説明・実演
 - ・生徒の実技指導(二人一組で実施)
 - ・講師による講評・まとめ

※プロパンガス、木型、鋼板12mm等を使用

《講師》

矢原 輝夫 氏 株式会社新来島どっく

《講師の助言》

- ・ぎょう鉄は船を建造する上で必要不可欠な技能。将来的にぎょう鉄に取り組む人材が育成されることを願っている。
- ・使用する鋼材、ガスの設定圧力等の修正が必要。

《生徒の感想・学んだこと》

- ・自分でやってみて、職人の方がやっているのを見てみると全然違っていました。高さやスピードなどが一定で、とてもすごい技術だと思いました。
- ・曲がりの種類には、縦曲がり・横曲がり・ねじれの三つがあることを学びました。
- ・加熱する方法や水をかける量、タイミングなどを学びました。作業が楽しかったです。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

加熱と冷却で鋼板を自在に曲げる「ぎょう鉄」の技術は、造船独自で開発・伝承されたものであり、長年の経験がなければできない技である。生徒は講師の動作を注意深く観察し、加熱・冷却の仕方を学び、冷却後曲がる板の様子に驚いていた。少し基礎を学んだと感じた。

《成果・今後の課題》

本校で初めて取り組む「ぎょう鉄」の実習は試行錯誤の段階にあり、日々課題に向き合いながら取り組んでいます。生徒の基本的な技能の定着を目指し、改善を図っていきます。

